

HAPEE ハッピーメール MAIL

Hiroshima international Access and Promotion of Economic Exchange

発行：ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター 〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47
TEL: 082-248-1400 FAX: 082-242-8628

CONTENTS

ハッピーメールは、回覧して皆様でお読みください。

巻 頭	「ひろしま産業振興機構の海外ネットワーク」	1
海外 レポート	新「海外ビジネスサポーター」の紹介	2
	ハノイ 初めての特別経済特区 ～希望と暗雲～	3
	台 北 台湾アイデンティティの変化	4
	ニューヨーク 全米最大級のお茶専門イベント ラスベガスで開催	5
	上 海 広島商工会議所（小売商業部会）の上海商業事情視察会	6
	ジャカルタ インドネシアのビジネス環境下での日本企業の対処法	7
お知らせ		8

★ バックナンバーは産振構HP「拠点別レポート」から

海外ビジネスのサポートはお任せください。皆様からのご相談をお待ちしております。

チェンナイ
田中 啓介 氏



大 連
朴 恵子 氏



上海事務所長
洲澤 輝 氏



台 北
歐 元韻 氏



ニューヨーク
蟬本 陸 氏



バンコク
辻本浩一郎 氏



シンガポール
碓 知子 氏



ジャカルタ
中川 智明 氏



ホーチミン
石川 幸 氏



ハノイ
中川 良一 氏



台北 ビジネスサポーター 歐 元韻 氏



皆様、初めまして。6月から台北ビジネスサポーターを務めます丸虎国際顧問有限公司総経理の歐元韻と申します。これから台湾の経済及び社会のトレンド情報を中心にハッピーメールに提供させていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

留学先の広島大学大学院で修士号取得後、台湾に戻り、人材派遣業界の大手日系企業にて通算20年近く勤務致しました。この間の東京と上海での駐在経験は現在の仕事に役立っていると強く感じております。2008年10月、丸虎国際顧問有限公司を設立。引き続き台湾で根を張り、人事コンサルティング、日本企業の台湾進出事前調査、台湾現地法人の設立、運営サポート業務等を中心とした業務サービスを提供致しております。日本の良き隣人「台湾」に関することでしたら、今迄築いてきた人脈と自身の経験値を基に懇切丁寧なサポートが可能と自負致しております。第二の故郷である広島企業の皆様方に期待以上のプレミアムの価値を齎すことを目指し誠心誠意努めて参りますので、今後ともどうか宜しくお願い致します。

ニックネームはユーロです。
なぜなら中国語では貨幣のユーロを歐元と表します。
性格は苗字（歐）の通り、一言で表すと、ロが三つあると言われてます。よくしゃべる、よく食べる、よく飲むの3つです。

思えば、現在の自分に繋がる原点は広島で過ごした6年間であり、特に平和であることのありがたさを意識して生きる事を教わりました。

2014年より、台湾広島県人会の幹事も務めさせて頂いており、また、広島大学千田塾キャリアサポート委員会の活動に参加するなど、台湾にいらながらも、広島とのふれあいを続けることを常に心がけています。

【座右の銘】 Think global! Act global&local!!

【会社紹介】

今年設立10周年を迎える丸虎国際顧問有限公司では、日本の地方自治体及び企業様の台湾におけるビジネス、貿易、文化交流及びインバウンド活動等をサポートしております。また、台湾企業と日本企業の橋渡し役を務め、台湾系企業の日本進出へのお手伝いも手掛けております。

今迄とこれからのご縁に感謝し、次の10年に向けて、多数の幸せが繋がりますよう頑張っております。

HP: <http://www.marutora.com.tw>



大連 ビジネスサポーター 朴 恵子 氏



この4月より大連サポーターに着任いたしました桜葉コンサルティング(株)大連室長の朴恵子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

中国黒竜江大学で音楽・ピアノ科を専攻した後、東京の音楽大学大学院に留学。ピアノを通じ、ハーモニー（調和）の重要性を学び、自己表現の大切さを学びました。この留学経験が、日本での就労や日系企業の業務に活かせていると感じております。

プライベートでは、2歳になる娘の成長を喜び日々を送っています。最近では、ピアノを弾いたり、日本のおもちゃを使い日本語を学んだり……。私自身が歩んできた道を上書きしながら、娘自身の人生を歩んでいます。ハッピーメール5月号で寄稿しました「中国における教育事情～大連～」は、まさに我が家で話題となっていることをテーマとして取り上げました。中国における教育への関心度は、我が家の関心度と全く比例しています。

■ 2014年に桜葉コンサルティング株式会社（旧社名：株式会社チャイナワーク）に入社。

大連に現地法人を持つ日系企業において、日本本社との調整や中国現地での販売、現場での業務支援に携わっております。この度ご縁があり、ひろしま産業振興機構の大連サポーターとして、広島県企業の皆様のご支援をしていくこととなりました。これまで培ってきた経験や中国人としての感性を基に、中国でビジネスを行っている企業様やこれから展開を考えている企業様にとって有意義なご支援ができるよう、頑張っております。大連のあんなこと、こんなことを知りたい企業様、どうぞご利用くださいますようお願いいたします。

【会社紹介】

桜葉コンサルティング(株)
上海及び北京に事務所を有する中国に特化したコンサルタント。中国での幅広いネットワークを活用し県内企業の中国ビジネスをサポート。大手企業をはじめ多くの顧客を持つ。

HP www.chinawork.co.jp/

ベトナム 初めての特別経済特区 ～ 希望と暗雲 ～

中川 良一

初めての特別経済特区の創設に向けて具体的な進展がみられました。長い年月をかけ関係省庁が検討した結果、特別経済特区の基本法となる「バンドン、北バンフォン、フーコク特別行政・経済区法案」（略称：経済特区法）がベトナム国会に上程され、同法案は 2019 年に採択される見込みです。新規ビジネスを秘めるため、国内外の企業、投資家よりベトナムの特別経済特区の創設の行方に対し、関心が寄せられています。

しかし、同特別経済特区内では、土地使用权を外国企業へ最大 99 年を認める案が盛り込まれており、そして主要施設を中国関連企業が 99 年間利用することが計画されているとの理由で、大きな反対運動が行われていました。6 月 10 日のデモでは、ベトナム南部を中心に外国企業が多数入居する工業団地内にデモ隊がおしかけ、投石を行うなど、一部の中国系企業

に被害が出始めています。

映像や写真で見る限り、若者が中心でデモを楽しんでいるかのようにも見えますが、政府関係者によると、参加者は海外の先導者から対価を受けているとの話も出ています。この中国企業向け土地賃貸期間が 99 年間と長すぎる、と問題になっている特別経済特区は、ベトナムのバンドン、北バンフォン及びフーコクの 3 カ所に計画されており、



(デモの様子)

< 特別経済特区の所在地および誘致業種 >

特別経済特区への進出形態については法人設立、プロジェクトの実施、進出企業への資本参加、ビジネス提携契約、PPP (Public Private Partnership) 契約等様々な形態が認められます。



- バンドン経済特区（北部のクアンニン省の沿岸地域で、中国国境に近い。世界遺産ハロン湾に近接。）
誘致業種：ハイテク、ハイテク部品産業、観光・文化、空港・港湾、商業施設
- 北バンフォン経済特区（中部のカインホア省の沿岸地域のリゾート地で、ニャチャンに近い。）
誘致業種：IT、電子、精密機械、港湾、観光・ホテル、貿易金融施設
- フーコク経済特区（南部のキエンザン省。タイランド湾にあるベトナムの最大の島で、タイ、カンボジアに近い。）
誘致業種：観光・ホテル、商業施設、会議場・国際展示場、医療・教育、研究開発

< 経済特区法案による経済特区の特徴及び投資家に対するインセンティブ >

行政の面においては特別経済特区の長には裁量権が大幅に委ねられる見込みです。なお、これらの特別経済特区においては既存の工業団地等に比べてインセンティブが一層充実化され、さらに自由商業貿易区の創設により免税品の販売促進、輸出入の促進等が期待されています。今後デモ等、一部の反対により、特別（スペシャル）が少ない経済特区にならないよう期待したいものです。

- ・外国投資家もプロジェクト申請なしで法人登録が可能（首相や省人民委員長の方針決裁を要する案件はその限りではない）。法人登録証は経済特区の長により発給される。
- ・特別経済特区内の「自由商業貿易区」では、貨物の輸出入の中継、観光客向け免税品販売、金融保険業、輸出入品の製造・加工・組立・梱包などが認められる。
- ・外国人も特別経済特区内に住宅を所有できる。
- ・管理者、専門性の高い専門家に対し個人所得税 10 年間免税（2030 年を超えない）、その後 50%減税。
- ・法人所得税については、30 年間税率 10%が適用。
この期間中、利益が出てから 4 年は免税、その後 9 年は 50%減税となる。その後は通常税率（現在 20%）。
- ・外国人管理者の滞在が 60 日以下及び通年累計 180 日以下の場合、労働許可証は不要。
技術職の外国人従業員の滞在が 30 日以下及び通年累計 90 日以下の場合、労働許可証は不要。
特別経済特区に入国する外国人の滞在が、60 日以下の場合、ビザは免除。
- ・機械設備の輸入税免除。

台湾アイデンティティの変化

歐 元 韻

＜台湾の若者のアイデンティティ＞

早速ですが、台湾経済を語るうえで欠かせない問題が中国との関係です。現在、中国との関係は経済並び人的交流の面で年々活発化しており、その為、最近の若い世代を中心に改めて自分達のアイデンティティと将来に強く関心がもたれています。中国とは同じ中華圏の人間同士ですので、言葉の問題等もなく中国企業や学校に就職、入学する台湾の若者が増えています。元々は 1990 年代に加速した対中投資にて中国で働く台湾の人達が自身のアイデンティティを強く意識し始めたことがきっかけですが、今は 1980 年代以降に生まれた人達が台湾経済の変化と共にその意識にも変化が見られます。

＜タロイモ VS. サツマイモ＞

突然ですが、読者の皆さんは「タロイモ」と「サツマイモ」についてどのようなイメージを持たれていますか？多分、大半の方が思い浮かべるのは「食べ物」としてのイモ類だと思います。但し、台湾では食べ物以外にも別の意味を表す場合があります。この様な時、台湾の人達が「タロイモ」と聞いて思い浮かべるのは約 1945 年以降中国大陸から台湾に移り住んだ中国本土出身者（外省人）の事です。「サツマイモ」は数百年前から台湾に移り住んだ移住者（本省人）の事を指します。因みに、私の様に外省人の父と本省人の母をもつ人達についた俗称は「タロイモサツマイモ」です。この様に互いをイモ類に例えて表現することからお分かりの様に過去両者の関係は決して良好とは言えませんでした。又、台湾には複数の原住民が暮らしており、その複雑多岐な民族構成は互いの存在を意識せざるを得ない環境でした。アイデンティティの複雑さということでは、日本植民地時代に日本教育を受けられた台湾の政治家で日本通の李登輝前総統は自身について「私は 22 歳までは日本人でした」との発言をされた件は大変有名な話です。

＜天下雑誌・2018 年国家情勢調査＞

次のデータは台湾の経済専門誌「天下雑誌」が年に一回実施する「国家情勢調査」に於ける調査結果です。現在の台湾人におけるアイデンティティの変化とそれに伴った行動様式の変化を理解することができます。

【調査結果抜粋】

出所：天下雑誌・2018 年国家情勢調査（天下雑誌股份有限公司）

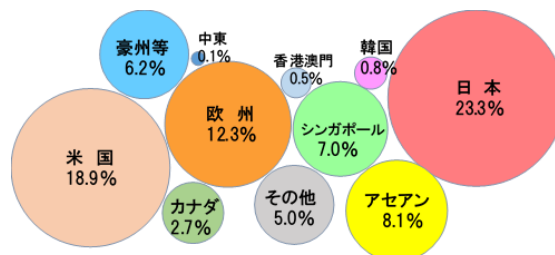
(1) 自身を「台湾人でもあり中国人でもある」と答えた人の割合はここ 5 年間で過去最高（34.1%）

(2) 中国で働きたいと答えた台湾人の割合がここ 5 年間で過去最高（38%）

中国での就職について (%)

調査年度	興味なし	興味あり	無回答
2014	64.2	31.0	4.8
2015	66.3	29.4	4.3
2016	67.7	29.2	3.2
2017	66.9	29.5	3.5
2018	60.9	37.5	1.7

(3) 海外で一番就職したい国は日本
日本：23.3% アメリカ 18.9%
ヨーロッパ 12.3% アセアン 8.1%



＜華人として活躍する台湾の若者＞

今までの台湾は常に諸外国とのビジネスに活路を見出す経済最優先の姿勢から、自ずとビジネスの分野においてもグローバル的視野に長けた優秀な人材を輩出してきましたが、これからは今までとは異なる新しい視点をもった「華人」としての台湾の人達が、中国、日本、東南アジア等の諸外国にて活躍の場を広げることを確信しております。



全米最大級のお茶専門のイベント ラスベガスで開催

蟬本 睦

＜お茶業界関係者が集う＞

6月12～14日の3日間、全米最大級のお茶のイベント、ワールドティーエキスポがラスベガスコンベンションセンターで開催されました。このイベントは展示会と業界関係者を対象とした多くのセミナーからなります。これからお茶ビジネスを始める方を対象とする集中講座（ブートキャンプ）や、様々なお茶ビジネスに関係する講座が用意されており、お茶ビジネスに携わるものとしては、欠かせないイベントとなっています。



（賑わう会場の様子）

＜来場者の傾向＞

多くのお客さんとブースにて商談をさせていただきましたが、多くは西海岸、ついで南部、中西部、そして東海岸からの来場が多く、欧州や、メキシコやコロンビア、エクアドルといった中南米からの来場も多いと感じました。また、近年目立ってきているのが中国企業です。出展者、来場者ともに中国の方々が増えた印象があり、また、気になる動きとしては、中国企業が堂々と「抹茶」と称した商品を展示していたことです。

＜米国のお茶の市場＞

お茶の消費量は、米国茶協会によれば、1990年に18億ドルだった年間の売り上げが、2017年にはほぼ10倍の125億ドルとなっています。まだまだ、コーヒーが強いアメリカ市場ではありますが、お茶の市場は年々広がってきていると言え、展示会場でも

「これからお茶を出すお店を開く」といった新規参入を計画している来場者が多くブースを訪れました。

Matcha

＜緑茶がトレンドを引っ張る＞

緑茶は米国で消費されるお茶としてはかなりマイナーな存在でしたが、高級茶市場が育ってきたおかげで、丁寧に作られた日本のお茶に注目が集まっています。なかでも、抹茶の人気は本物で、数年前はスターバックスで「Matcha」では通じませんでしたが、今回の展示会でもいたるところに「Matcha」の看板が出ており、人気であることが伺えました。

＜日本企業の参加＞

日本企業としては、当地に進出している伊藤園がメインスポンサーとなっており、同社米国法人のロナ副社長がレセプションでの司会を務めるなど非常に目立っていたほか、同じく米国に現地法人を持つ、あいや（愛知県）、葵製茶（同）は現在米国でも大きなブームとなっている抹茶をPRしていました。また、全国第2位の緑茶生産量を誇る鹿児島からも鹿児島製茶が出展していました。また、ティーバックフィルターを扱う大紀商事（大阪市）が出展していたほか、ティーバッグへの充填機械の最大手、不双産業（静岡県）も入口近くに大きな機械を展示し、ティーバッグへの充填の実演を行っていました。筆者も日本の茶器（茶筒とティーポット）を扱うブースをそれぞれ出展させていただきましたが、本展示会はお茶そのもののみならず、こういった周辺の産業にも多くのチャンスがあると思いますので、ぜひ広島県企業もチャレンジしていただきたいと思います。



広島商工会議所（小売商業部会）の上海商業事情視察会

洲澤 輝

6月7日～9日にかけて広島商工会議所小売商業部会の視察団が上海の商業事情の調査に来訪されました。皆様もご存じのとおり、近年の上海は凄まじい勢いで経済が発展しています。その勢いを肌で感じる事で新しい発想を得て、それをビジネスへと繋げていこうとの視察であります。参加者は計7名。扱う商品分野も年齢も幅広く、各々様々な感想を持たれたのではないかと思います。

<視察先等について>

今回、当事務所では現地での最新経済情報等のブリーフィングや視察先等の相談など、事前のお手伝いをさせて頂きました。視察先は、新しいビジネスの発想の惹起という観点から、上海の過去から現在への変遷、そして未来につながる街のモザイクをすべて体感していただけるよう検討しました。昔ながらの水郷に発達した商業エリアにはじまり、急成長を遂げる活気あふれる市街地、その中で展開される最先端のIT技術を駆使したサービスを提供する商業施設等を高い密度で視察することで、日本、広島には無い“モノ”や“サービス”を直接肌で感じて頂けたと思います。

<参加者の感想>

参加の皆様からも「中国、上海のイメージが180度変わった」、「想像していた街と全く違う」など、驚きの声を多数頂きました。

今回の上海視察を通じて中国（上海）を肌で感じる事ができました。そして、何でも行動し、見聞きする事の大切さを改めて感じました。本当に中国（上海）の経済発展のスピードの速さには驚かされるばかりでした。今回の視察で得た物を広島に持ち帰りどの様に活かしていくかをじっくり検討したいと思います。

3、4年前の訪問時と比べると、上海はエコ意識の目覚めから、自転車や電動バイク・EV車も増えており、携帯一つで生活のほとんどがカバーできる社会に変化していることに驚きました。また、老朽化した建物や農用地であった場所に次々と高層ビルが建設され、上海の勢いを肌で感じる事ができました。とにかく日本とのスピード感が全く違います。我々も日本国内では企業として生き残るのが難しいのではと感じている中で、中国の人口の多さは魅力の一つと思っています。何を売り込めるのか、早急に見つけなければと思っています。

～視察先～

■歴史的商業エリア

田子坊：昔ながらの路地裏に瀟洒な雑貨店や衣料品店が数多く並び、連日多くの若者で賑わう。

新天地：上海特有のレンガ造りの長屋風集合住宅「石庫門」をリノベーションした商業集積地。

朱家角：発達した水路の要衝として古くから発展した水郷古鎮。「小橋、流水、人家」の昔ながらの江南水郷である下町。

■活気あふれる市街地商業エリア

City super：日本人が香港で創業したスーパー。

品揃えに定評があり、上海では5店舗を展開。

上海環貿広場：上海きっての商業街・淮海中路の中でも、最も賑やかなエリアの巨大ショッピングモール。

上海書城：上海最大の書店。膨大な書籍が7階建の各フロアに分野別に陳列。

自動車販売店 BYD：中国最大手の電気自動車（EV）メーカーの販売網。

■最先端IT店舗

盒馬鮮生：デリバリーに対応した上海でも最先端の生鮮食品スーパー。現在、上海市に16店舗展開。

無人コンビニ：スマートホンの専用アプリを利用し購入。レジに並ぶ必要が無く時間が節約できる。



(スマホ決済のレジ無店舗)

<今回の視察団の受け入れを終えて>

かつて私がそうであったように、日本から見る中国、上海での生活や、中国ビジネスに対してはネガティブなイメージを持つ方もまだ少なからずおられると思います。しかし、私も実際に上海に来て生活し、現地の人と交流する事で多くの“勘違い”に気づきました。メディアの情報は大切ですが、実際に現地へ出向き、自分の目で見て体験し、そこで感じて得た情報が一番正しい情報だと思います。

現地を体感するのは今回の様な視察会も一つの手段だと思います。是非、皆様も力強い中国経済の脈動とIT技術の発展を背景とし次々と顕在化するユニークな新ビジネスの視察に上海にお越しください。

インドネシアのビジネス環境下での日本企業の対処法

中川 智明

＜日本人にとっての日本及び

インドネシアのビジネス環境の相違＞

世界銀行が毎年行う世界各国の投資環境ランキングレポート「Doing Business 2018」によれば、インドネシアは前年度比で 19 位上昇の 72 位となりました。日本は 24 位となっています。この順位は、「日本が意外と低く、インドネシアが意外と高い」という印象を持ちましたが、それは私が日本人で、日本人から見た日本の制度・インドネシアの制度という観点に拠っていると解釈しました。多くの日本人も同じ印象ではないでしょうか。

Doing Business 2018

＜特に課題の残る分野と、インドネシアのビジネス環境への一般的な対応＞

日本企業が直面する問題と、問題に立ち向かいつつ、どうインドネシアのビジネス環境に対処していくのか、「実際のところ、どーなんだ？」という点を、現地の実情や自分の経験をベースにして、現実的な対処法をお伝えしたいと思います。

4. 納税 (114 位)

税務は、実は一番問題になるかもしれません。少なくとも私はこの問題に一番近いところにおります。多くの問題は、実は個々の会社の会計帳簿の精度の低さ、ひいては現地法人で会計を担当している従業員のレベルの低さに起因すると思われます。勿論、よく言われるように税務署による強硬かつ非合理と思われるような課税も有るようですが、それでも会計帳簿を適切に作成することで、かなりのリスクの低減ができることは間違いありません。

「まだ売上があがらないから」とか「設立当初は苦しいから」というようなエクスキューズで経理部門にお金をかけない日本企業は、結局精度の低い会計帳簿で現地税務当局に付け入る隙を与えています。

日本企業は帳簿の質が悪いので税務調査で指摘が簡単にでき、追徴をすると確実に追徴の税金を納付しますので、これ以上良いターゲットは無く、常に狙われている存在であると言えます。

対策としては、「事前に予算を確保して設立当初から隙の無い会計帳簿や税務対策をしてください」ということになってしまうのですが、詳細は、国際ビジネス支援センターまでお問合せください。

＜インドネシア進出企業へのエール＞

具体的効果的な対策の無い課題点もありますが、それは同業他社にも同じです。課題が無くビジネスがしやすい環境は、同業他社にも同じで、既に競合が多いことが想像できます。是非、上記の課題を適切にリサーチして対応策を事前に検討し、適切な予算と計画でインドネシア進出を成功させていただきたい

1. 登記 (106 位)

郊外の更地等を購入すると、登記が機能していないため、持ち主と名乗る者への地代支払後に「本当は私の土地だ」と名乗る者が次々と現れ、結局誰が所有者かもわからず、金銭持ち逃げにあうことがあります。また、仮に取得しても、当該土地を不法に占拠した者に対して登記で所有権の法的根拠を示せないケースも想定されます。

このような事態を避けるために、多少割高でも、日系商社等が管理する工業団地等の信頼できる土地保有者からの土地取得をお勧めします。

2. 建設許可取得 (108 位)

役所での許可の取得のタイミングが分からず、インドネシア人のペースに巻き込まれると、緩慢と滞在費や弁護士費用、時には接待費等の費用も膨らみ、出費がいつまでどの程度かかるのか、見積もりも出来ません。

また、役所は予測困難で不合理である対応が日常であり、一筋縄ではいかない折衝が必要です。許可取得には、「このような不合理な面のある組織を相手にするんだ」ということを理解し準備する必要があります。

3. 越境貿易 (112 位)

税関で様々な問題に直面しますが、専門のコンサルタントもあり、問題解決の依頼が可能です。が、コンサルタントの質が問題です。

税関も、不合理な折衝を求められる場合があり、「税関は時間がかかる可能性が高い」と認識して対応する必要があります。

5. 起業のしやすさ (144 位)

会社設立も、頻繁なルール改正があり困難です。法令だけでなく、投資調整庁の考え方により実質的に設立の難易度が変わってくると言われていますので、難しい設立であれば、多少はコストが膨らんでも弁護士事務所等で専門的なサービスを受けることをお勧めします。

と思います。

産振構「国際賛助会員の集い」

事前告知
近日募集開始

～&留学生との交流の場～

今年も国際賛助会員の皆様の交流の場として「集い」を開催いたします。

■広島会場 H30年8月29日(水) 17:30～19:00 (ANA クラウンプラザホテル)

■福山会場 H30年8月30日(水) 17:15～18:45 (福山商工会議所)

【ゲスト】

・産振構台北ビジネスサポーター 歐元韻 氏
(丸虎国際顧問有限公司 総経理)

・県内在住の「外国人留学生」

今年は留学生の皆さんと
台北ビジネスサポーターの
パネルディスカッション？
を計画中!!

同封チラシ
参照

「中国ビジネスセミナー」

～日中関係改善と新たなビジネスチャンス～

参加
無料

■ 日時 平成30年8月24日(金) 13:30～16:00

■ 場所 広島県情報プラザ (広島市中区千田町3丁目7-47)2階

■ 定員 40名 ■参加料 無料

第1部 「精米機製造業から見える中国米市場」

講師 (株)サタケ 経営戦略室 中国推進担当課長 松本 吉人 氏

第2部 「中国最新事情と中国市場販路開拓の秘訣」

講師 桜葉コンサルティング(株) 代表取締役社長 遠藤 誠 氏

◎ 個別相談会 桜葉コンサルティング(株) 遠藤氏による個別相談会をセミナー後に開催

明日を創る力

サタケ

-----広告-----

AIBA 認定

貿易アドバイザー試験 2018

AIBA
貿易アドバイザー協会

セカンドキャリア・副業であなたを活かす最適な資格です

主 催: 一般社団法人 貿易アドバイザー協会 (AIBA)

後援: 日本貿易振興機構(ジェトロ)、国際機関日本アセアンセンター、日本商工会議所
一般社団法人 日本貿易会、公益財団法人 日本関税協会、一般社団法人 日本商事仲裁協会、
一般財団法人 対日貿易投資交流促進協会 (ミプロ)
協賛: 一般財団法人 貿易・産業協力振興財団 (ITIC)

■試験日 1次 2018年11月23日(金) 祝日(勤労感謝の日) 2次 2019年1月下旬予定

■試験会場 1次 東京・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌 2次 東京・大阪

■試験科目 1次 貿易英語、貿易実務、国際マーケティング

2次 小論文(事前提出) 審査と面接

■受験資格 原則3年以上の国際ビジネス関連業務経験を有する方

■受験料 10,000円(税込み)

■実力養成セミナー 10月6日(土) 於: 広島YMCA国際文化センター

広島

お問合せ先

一般社団法人 貿易アドバイザー協会 (AIBA)
Association International Business Advisers

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
東京YWCA会館 301号
TEL: 03-3291-2223 FAX: 03-3291-2224
E-mail: aiba-nintei@trade-advisers.com

貿易アドバイザー協会 検索

詳細については当協会ホームページを
ご覧ください。

<http://trade-advisers.com>